

# 岐阜

※2026年春実施の全国公立高校入試情報は、2025年12月9日現在によるものです。

## 1.日程

[第一次選抜・連携型選抜・帰国生徒等入学者選抜・外国人生徒等入学者選抜・県外募集選抜]

●学力検査

3/4

○面接・実技検査・独自検査

3/4～5

○合格発表

3/13

※追検査 3/10(・11)

## 2.学力検査

[第一次選抜(標準検査)]

国語：50分・100点

数学：50分・100点

英語：50分・100点

理科：50分・100点

社会：50分・100点

<500点満点>

※理数科及びグローバルビジネス科で傾斜配点を実施することができる。→「備考」参照。

※面接を実施する高校あり。音楽科、美術科は、志望順位にかかわらず、実技検査を実施する。

※独自検査を実施する学科(群)あり。後述参照。

○英語聞き取りあり

○国語課題作文あり(例年)

## 3.調査書

[評定の記載方法]

○1年…5段階(絶対評価)

○2年…5段階(絶対評価)

○3年…5段階(絶対評価)

[調査書点の算出方法]

3年重視

1・2年：9教科×5段階×2学年=90点

3年：9教科×5段階×2倍=90点

#### 4. 合否判定

[調査書と学力検査の比重]

比率を高校が選択。(3:7~7:3)

[判定方式]

総合判定

調査書の記録と標準検査の結果を、高校で定めた比率に基づいて総合的に審査する。この際、第2志望・第3志望を含めて選抜に当たる。

※標準検査に加えて独自検査を実施する学科・コースの場合

独自検査受検者を対象に、調査書の記録・標準検査・独自検査の結果に基づいて総合的に審査し、独自検査を含む選抜の募集人員内で選抜。この際、独自検査受検者の第2志望・第3志望を含めて選抜に当たる。

次に、標準検査のみの受検者を含めた残りのすべての受検者を対象に、調査書の記録・標準検査の結果を、高校で定めた比率に基づいて総合的に審査し、選抜する。

#### 5. 推薦入学等

推薦選抜等は実施しない。

##### ■独自検査を含む選抜

学科等の専門領域に関する実技能力や部活動・外部クラブチーム等の実績を重視して評価することを目的として、多数の高校・学科で実施。

標準検査に加えて、高校判断で独自検査を行う。

受検者が出願時に独自検査を受検するかどうかを選定する。

[検査内容]

面接、小論文、実技検査、自己表現のうちから、各高校が定めたもの。

[定員に対する比率]

当該学科(群)において、定員の30%以内。

##### ■連携型選抜

揖斐、郡上北、八百津、飛騨神岡

連携型中学校からの出願を対象とする。

「中高連携した教育活動の記録」を提出。

[募集人員]

入学定員とする。

[検査内容]

面接、《第一次選抜の学力検査(実施する教科は高校が選ぶ)、自校作成の学力に関する検査、小論文》

##### ■帰国生徒等入学者選抜

第一次選抜において、すべての高校・学科で実施する。

県教育委員会による審査あり。

[募集人員]

入学定員とは別に、各校 3 名程度。

[検査内容]

第一次選抜学力検査(国・数・英)，面接，小論文

※音楽科・美術科は実技検査を実施。

■外国人生徒等入学者選抜

第一次選抜において、すべての高校・学科で実施する。

県教育委員会による審査あり。

[募集人員]

入学定員とは別に、各校 3 名程度。

[検査内容]

第一次選抜学力検査(国・数・英)，面接，小論文

※学力検査は、高校校長判断により、自校作成の外国人生徒等学力検査とすることができる。

※音楽科・美術科は実技検査を実施。

## 6. 備考

同一校内の他の学科を第 2 志望・第 3 志望とすることができる。ただし、独自検査での受検では、異なる選抜要件の独自検査を実施する学科を第 2 志望・第 3 志望とすることはできない。

全ての高校で、帰国生徒選抜・外国人生徒選抜を実施。

※県外募集実施校

入学定員とは別に、音楽・運動・科学その他、分野を指定して、県外からの募集を行う高校がある。出願時に、「入学誓約書」を提出。

※インフルエンザ罹患等やむを得ない理由で選抜をすべて欠席した、または途中から受検できなかった受検生のうち、希望者には追検査を実施する。

※各合格者数の合計が入学定員に満たない学科で、第二次選抜を実施する。

[学力検査の傾斜配点]

○岐山・大垣東の理数科…数・理 × 1.3